

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 40 週

(10/3~10/9)

9 月報合併号

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター (岐阜県保健環境研究所)

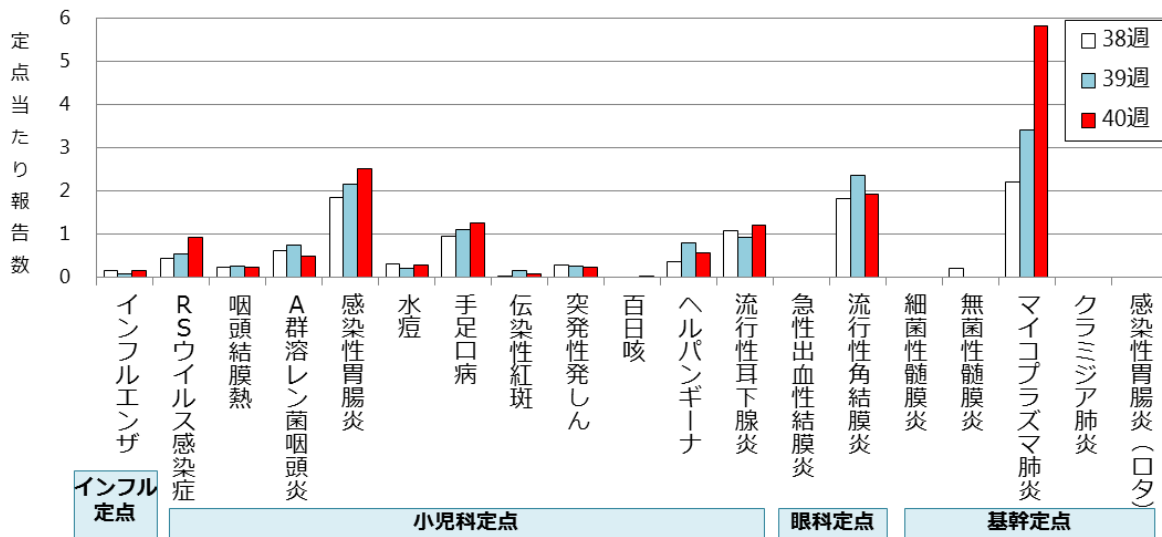
- ◇ 今週、羽島市内の小学校で、今シーズン県内で初めてとなるインフルエンザによる学級閉鎖がありました。
- ◇ マイコプラズマ肺炎、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎が、高いレベルで推移しています。
- ◇ 秋~初冬はつつが虫病に注意が必要です。→トピックス

## ■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	流行性角結膜炎	可茂 (16.00)
注意報レベル	なし	—

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

1 類感染症：なし

2 類感染症：結核 16 例

3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例 (O157：2 例)

4 類感染症：なし

5 類感染症：なし

### ● 2016 年累計

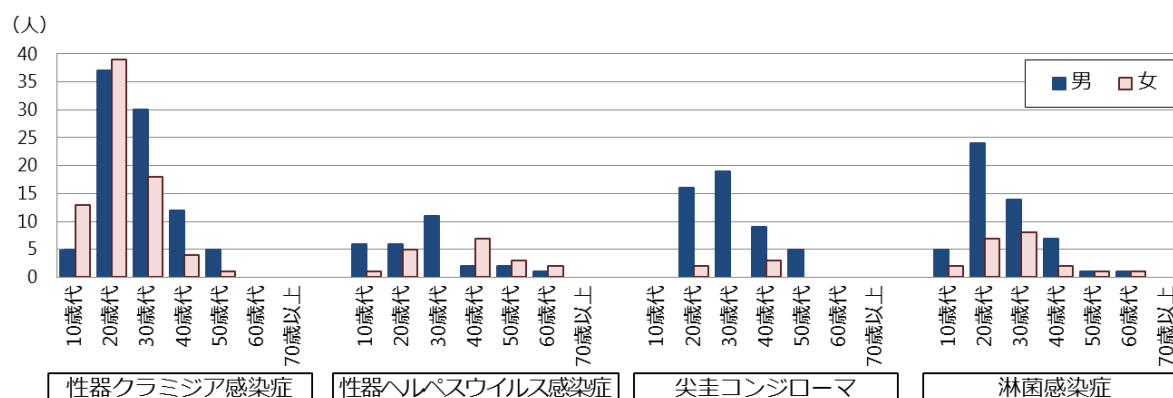
1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	347 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45 例
4 類感染症	腸チフス	1 例
	E 型肝炎	3 例
	ボツリヌス症	1 例
	A 型肝炎	1 例
	マラリア	1 例
5 類感染症	つつが虫病	1 例
	レジオネラ症	27 例
	デング熱	3 例
	アメーバ赤痢	9 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	35 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9 例
	水痘 (入院例に限る)	5 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
梅毒	25 例	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	
播種性クリプトコックス症	3 例	
後天性免疫不全症候群	22 例	
風しん	2 例	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	

## ■月報告定点把握対象疾患 <9月>

### ●性感染症（STD定点：15か所）

疾患名	報告数（定点当たり）					
	9月	男		8月	7月	6月
性器クラミジア感染症	23 (1.53)	10	13	21 (1.40)	17 (1.13)	20 (1.33)
性器ヘルペスウイルス感染症	5 (0.33)	4	1	5 (0.33)	5 (0.33)	5 (0.33)
尖圭コンジローマ	7 (0.47)	6	1	4 (0.27)	7 (0.47)	3 (0.20)
淋菌感染症	10 (0.67)	9	1	11 (0.73)	5 (0.33)	7 (0.47)

### 年齢階級別報告数（2016年1月～9月）



### ●薬剤耐性菌感染症（基幹定点：5か所）

疾患名	9月報告数 (定点当たり)	年齢群等
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8 (1.60)	50歳代1例、60歳代2例、70歳以上5例
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	なし	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	なし	-

## ■病原体検出情報速報

医療機関から提出された検体の病原体検出状況（9月採取分、10月12日現在結果判明分）

臨床診断名	病原体名（遺伝子検出を含む）	検出数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH3	3
咽頭結膜熱	アデノウイルス 3型	1
流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス（野生株）	2
感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌（EAST1EC）	1
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2	3
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	3
	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	1
デング熱	デングウイルス 1型	1
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群 1	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter cloacae</i> AmpC β-ラクタマーゼ産生性	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus agalactiae</i>	1

※病原体検出情報の詳細については HP をご覧ください（毎週更新）。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/byougentai.html>

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報（IASR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

## ■トピックス

### 《つつが虫病》

#### ◆ 県内では比較的多くの患者が発生しています

秋から初冬にかけては、つつが虫病患者が増加する時期です。

県内では、毎年 10～20 例程度の患者が報告されており、2006～2015 年の 10 年間で 180 例が報告されました。これは、近隣県と比べると、かなり多い数となっています。

県内では、患者の 60%が 11 月に、25%が 12 月に診断・報告されています。男女差はなく、男女ともに 60 歳以上が多くなっています。また、患者の推定感染地域を市町村別でみると、下呂市、揖斐川町、郡上市の順に多くなっています。状況としては、高齢者が自宅近くで農作業の際に刺されて感染することが多い傾向にあります。

#### ◆ 草むらや山林での活動時には対策を

つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシの幼虫に刺されることで感染します。国内のツツガムシの病原体保有率は 0.1～3%といわれていますが、近隣県に比べ、岐阜県には病原体を保有する有毒ダニが広い範囲に生息していると考えられます。

ツツガムシは、卵から孵化した後の幼虫期に哺乳動物に吸着しますが、秋～初冬が孵化の時期にあたるため、この時期に患者の発生が多くみられます。

予防のためには、感染のおそれのある時期や場所を知り、農作業や散策などで草むらや山林、田畑、河川敷などに立ち入る際は、肌の露出を避け、ダニの吸着を防ぐことが重要です。ディートを含む虫よけ剤も有効とされています。

つつが虫病患者報告数

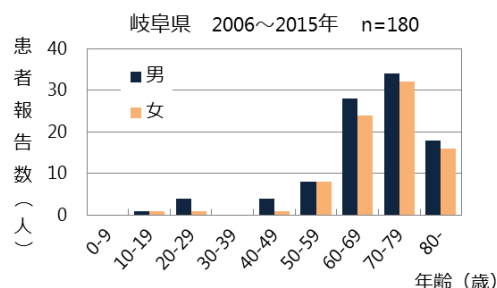
年	全国	岐阜県
2006	417	20
2007	382	28
2008	442	23
2009	465	19
2010	407	17
2011	462	18
2012	436	16
2013	344	14
2014	320	9
2015	419	16

過去10年間の

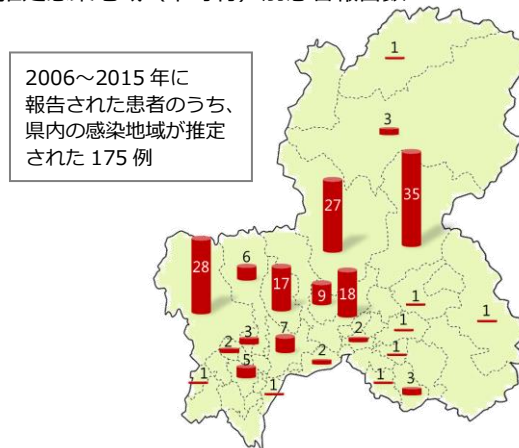
近隣県の患者報告数

近隣県	患者報告数
岐阜県	180
愛知県	36
三重県	33
富山県	26
石川県	24
福井県	6
滋賀県	4
長野県	63

つつが虫病 年齢・性別患者報告数



推定感染地域 (市町村) 別患者報告数



#### ★ つつが虫病とは

つつが虫病リケッチアによる感染症で、ツツガムシによって媒介されます。潜伏期は 5～14 日で、高熱により発症し、皮膚には特徴的な刺し口がみられます。その後数日で、体幹部を中心に発疹が現れ、多くの場合、倦怠感、頭痛、リンパ節腫脹などもみられます。治療が遅れると播種性血管内凝固症候群をおこすことがあり、死亡することもあります。

#### ★ 感染症法における取扱い

つつが虫病は、感染症法において 4 類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は、直ちに保健所に届け出なければなりません。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>